2018年11月5日

2019年3月期 第2四半期 決算説明会

説明者 取締役副社長CFO 宮崎純一





2018上実績

(億円)

	2017上			2018上			増減			増減率	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計		1Q	2Q	計	計
売上高	474	436	910	509	471	過去最高	980	+35	+35	+70	+8%
営業利益	100	73	173	107	87	過去最高	194	+7	+14	+21	+12%
営業外損益	9	-4	5	12	0		12	+3	+4	+7	-
経常利益	109	69	178	119	87	過去最高	206	+10	+18	+28	+16%
特別損益	0	0	0	0	0		0	-	-	ı	-
純利益 (1)	79	53	132	88	66	過去最高	154	+9	+13	+22	+17%
EBITDA (2)	122	98	220	131	113		244	+9	+15	+24	+11%
EPS(円/株)	52.22	35.18	87.40	59.25	44.28	103	3.53	+7.03	+9.10	+16.13	+18%
配当(円/株)	-	-	32	-	-		40	-	-	+8	
配当総額	-	-	48	1	1		59	-	-	+11	
売上高営業利益率	21.2%	16.6%	19.0%	21.0%	18.5%	19.	.8%	-0.2%	+1.9%	+0.8%	
ROE	-	-	•	1	-		-	-	-	-	
為替レート(円/ドル)	111	111	111	109	111		110				
ナフサ(円/kl) (3)	39,100	36,100	37,700	48,700	53,500	51,	200				
包括利益	95	72	167	75	92		167				

	2018上予想					
(20	18/5発:	表)				
1Q	2Q	計				
509	458	967				
105	79	184				
8	-4	4				
113	75	188				
0	0	0				
84	57	141				
-	-	236				
-	-	94.85				
-	-	38				
-	-	56				
20.6%	17.2%	19.0%				
-	-	-				
-	-	107				
-	-	48,500				

⁽¹⁾ 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

⁽²⁾ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

⁽³⁾ 実績は財務省貿易統計ベース

2018上実績

```
<前年比> (売上高) ◆増収 +70億円 (+8%) (営業利益) ◆増益 +21億円 (+12%) (経常利益) ◆増益 +28億円 (+16%) (純利益) ◆増益 +22億円 (+17%) (EPS) ◆増加 +16.13円 (+18%)
```

売上高は4年連続、営業利益は6年連続、経常利益・純利益は2年連続 過去最高を更新

2018予想(3Q、4Q業績予想開示)

(億円)

	2017実績													
					(2018/11発表)				増減			増減率		
	上	(3Q)	(4Q)	下	計	上実	(3Q)	(4Q)	下	計	上実	下	計	計
売上高	910	417	607	1,024	1,934	980	429	646	1,075	過去最高 2,055	+70	+51	+121	+6%
営業利益	173	51	126	177	350	194	32	155	187	過去最高 381	+21	+10	+31	+9%
営業外損益	5	10	-3	7	12	12	5	3	8	20	+7	+1	+8	-
経常利益	178	61	123	184	362	206	37	158	195	過去最高 401	+28	+11	+39	+11%
特別損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
純利益 (1)	132	45	94	139	271	154	26	120	146	過去最高 300	+22	+7	+29	+11%
EBITDA (2)	220	78	157	235	455	244	-	-	248	492	+24	+13	+37	+8%
EPS(円/株)(3)	87.40	30.28	62.62	92.90	180.30	103.53	-	-	98.26	201.79	+16.13	+5.36	+21.49	+12%
配当(円/株)	32	-	-	36	68	40	-	-	42	82	+8	+6	+14	
配当総額 (3)	48	-	-	54	102	59	-	-	63	122	+11	+9	+20	
売上高営業利益率	19.0%	12.3%	20.7%	17.3%	18.1%	19.8%	7.5%	24.0%	17.4%	18.5%	+0.8%	+0.1%	+0.4%	
ROE (3)	-	-	-	-	16.1%	-	-	-	_	16.5%	-		+0.4%	
為替レート(円/ ^۴ _ル)	111	-	-	111		110	-	-	110	_	-	•		
ナフサ(円/kl)	37,700	-	-	46,200		51,200	-	-	52,400					
				1										

2018予想 (2018/5発表)							
上	下	計					
967	1,073	2,040					
184	184	368					
4	8	12					
188	192	380					
0	0	0					
141	144	285					
236	248	484					
94.85	97.08	191.93					
38	40	78					
56	59	115					
19.0%	17.1%	18.0%					
-	-	15.8%					
107	107						
49 500	49 500						

- (1) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す
- (2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

167

包括利益

(3) 2018予想は、自己株取得(2018年6月取得完了)50億円の影響を含む

308

167

2018予想

2018下予想

<前年比>

```
(売上高) ◆増収 +51億円 (+5%)
(営業利益) ◆増益 +10億円 (+6%)
(経常利益) ◆増益 +11億円 (+6%)
(純利益) ◆増益 +7億円 (+5%)
(EPS) ◆増加 +5.36円 (+6%)
3Q(営業利益) ◆減益 -19億円 (-38%)
```

<2018/5業績予想比>

(売上高)	◆上ぶれ	+2億円
(営業利益)	◆上ぶれ	+3億円
(経常利益)	◆上ぶれ	+3億円
(純利益)	◆上ぶれ	+2億円
(FPS)	▲ E &th	_1 18四

4Q(営業利益) ◆増益 +29億円 (+23%)

2018年間予想

<前年比>

```
(売上高)
         ◆増収 +121億円 (+6%)
(営業利益)
         ◆増益
               +31億円 (+9%)
(経常利益)
         ◆増益
               +39億円 (+11%)
(純利益)
         ◆増益
               +29億円 (+11%)
(EPS)
         ◆増加
               +21.49円 (+12%)
(ROE)
         ◆16.5% (+0.4%)
```

<2018/5業績予想比>

```
(売上高)(営業利益)(経常利益)(経常利益)(純利益)(EPS)◆上ぶれ +15億円◆上ぶれ +9.86円
```

売上高・営業利益・経常利益・純利益は 2017年度の過去最高を更新

<株主環元>

◆配当 中間40円、期末42円 (配当性向40.6%)

(前年比:中間8円増配・期末6円増配、2018/5業績予想比:中間2円増配・期末2円増配)

◆自己株式取得 50億円、976千株取得(2018年5月~6月)

◆自己株式消却 2百万株消却(2018年5月、8月)

◆総還元性向目標 70%(上記自己株式取得実績と配当に基づけば57.3%)

営業外損益•特別損益•包括利益

(億円)

					(PSI 1)
	2017上	2018上	2017年間	2018年間予	2018年間予
	実績	実績	実績	(2018/11発表)	(2018/5発表)
営業外収益	12.6	17.8	29.4	32.7	26.6
受取利息 · 配当金	3.2	3.4	8.4	7.8	7.4
持分法投資損益	4.5	4.1	13.2	10.5	10.1
為替差益	1.6	3.1	0.0	3.1	0.0
その他	3.3	7.2	7.8	11.3	9.1
営業外費用	6.9	5.6	16.9	12.8	14.2
支払利息	0.7	0.6	1.3	1.0	1.0
為替差損	0.0	0.0	4.6	0.0	0.0
固定資産処分損	2.2	3.2	5.9	7.5	9.0
その他	4.0	1.8	5.1	4.3	4.2
特別利益	_	-	_	_	_
特別損失	-	-	-	-	-
包括利益	167.1	166.7	307.6	-	-
純利益	131.8	154.1	271.4	-	-
非支配株主純利益	1.2	0.8	1.6	-	-
その他有価証券評価差額金	35.6	8.5	35.7	-	-
為替換算調整勘定	-1.3	3.5	-1.2	-	-
その他	-0.2	-0.2	0.1	-	_

キャッシュフロー

(億円)

	2017上 実績	2018上 実績
営業キャッシュ・フロー	300	292
税金等調整前当期純利益	178	206
減価償却費	47	50
法人税等の支払	-37	-52
運転資金増減他	112	88
投資キャッシュ・フロー	-63	-60
設備投資	-64	-52
投資有価証券購入·売却	0	-5
その他	1	-3
財務キャッシュ・フロー	-268	-315
配当	-43	-54
借入金増減額	-175	-209
自己株取得	-50	-50
その他	0	-2
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1
現金及び現金同等物の増減額	-30	-82
現金及び現金同等物の残高	327	295

2017年間	2018年間予
実績	(2018/11発表)
377	352
362	401
105	111
-73	-97
-17	-63
-152	-129
-138	-123
-7	-5
-7	-1
-203	-183
-91	-113
-21	-20
-90	-50
-1	0
-2	0
20	40
377	417

2018年間予 (2018/5発表) 346 380 116 -96 -54 -161 -150 0 -11 -180 -110 -20 -50 0 0
346 380 116 -96 -54 -161 -150 0 -11 -180 -110 -20 -50 0 0 5
380 116 -96 -54 -161 -150 0 -11 -180 -110 -20 -50 0
116 -96 -54 -161 -150 0 -11 -180 -110 -20 -50 0
-96 -54 -161 -150 0 -11 -180 -110 -20 -50 0 5
-54 -161 -150 0 -11 -180 -110 -20 -50 0
-161 -150 0 -11 -180 -110 -20 -50 0
-150 0 -11 -180 -110 -20 -50 0
0 -11 -180 -110 -20 -50 0
-11 -180 -110 -20 -50 0
-180 -110 -20 -50 0
-110 -20 -50 0 0
-20 -50 0 0
-50 0 0 5
0 0 5
0 5
5
382

貸借対照表

	2017/9	2018/3 (A)	2018/9 (B)	増減 (B) - (A)
流動資産	1,255	1,456	1,282	-174
現金預金	327	377	295	-82
売上債権	504	654	535	-119
たな卸資産	387	378	416	+38
その他	37	47	36	-11
固定資産	980	1,004	1,024	+20
有形固定資産	537	545	547	+2
無形固定資産	17	18	17	-1
投資有価証券	375	385	406	+21
その他	51	56	54	-2
資産合計	2,235	2,460	2,306	-154

[※]税効果会計基準改正の影響等により、 2017/9、2018/3の貸借対照表は組み替え済み

(億円)

i de la companya de				
	2017/9	2018/3 (A)	2018/9 (B)	増減 (B) - (A)
負債	524	696	481	-215
買入債務	162	186	166	-20
借入金	133	286	77	-209
その他	229	224	238	+14
純資産	1,711	1,764	1,825	+61
株主資本	1,553	1,604	1,654	+50
その他有価証券 評価差額金	136	137	145	+8
為替換算 調整勘定	1	1	5	+4
非支配株主持分	17	18	17	-1
退職給付に係る 調整累計額	4	4	4	-0
負債・純資産 合計	2,235	2,460	2,306	-154
- 白コ容太比索	75 0 0/	74 00/	70 40/	

[·]自己資本比率 75.8% 71.0%

78.4%

(1) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

[・]D/Eレシオ (1) -12.5% -5.7% -13.1% - 株主資本増減+50 = 純利益154 - 配当その他104

(白紙)

2018予想 セグメント別売上高(1)

(億円)

			2017実績						2018予想 (2018/11発表)								増減		2018予想 (2018/5発表)		
		1Q	2Q	H	3Q	4Q	ィ	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	ㅗ	計	上実	下	計	上	ィ	計
化	学	88	79	167	92	90	182	349	87	83	170	102	106	208	378	+3	+26	+29	182	198	380
	ファイン	28	25	53	28	25	53	106	27	24	51	28	34	62	113	-2	+9	+7	54	59	113
	基礎	60	54	114	64	65	129	243	60	59	119	74	72	146	265	+5	+17	+22	128	139	267
機	能性	141	150	291	151	146	297	588	156	164	320	158	160	318	638	+29	+21	+50	306	319	625
農	業化学	146	115	261	64	256	320	581	164	123	287	57	282	339	626	+26	+19	+45	289	341	630
医	薬	21	14	35	23	17	40	75	18	19	37	13	20	33	70	+2	-7	-5	38	34	72
卸	売	146	145	291	159	145	304	595	178	156	334	173	156	329	663	+43	+25	+68	326	321	647
そ	の他	54	43	97	46	72	118	215	46	59	105	54	66	120	225	+8	+2	+10	118	118	236
調	整額	-122	-110	-232	-118	-119	-237	-469	-140	-133	-273	-128	-144	-272	-545	-41	-35	-76	-292	-258	-550
合	計	474	436	910	417	607	1,024	1,934	509	471	980	429	646	1,075	2,055	+70	+51	+121	967	1,073	2,040

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

2018予想 セグメント別営業利益

(億円)

			20	17実績				2018予想 (2018/11発表)								増減			
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	ュ	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	ㅗ	計	上実	ᅿ	計		
化学	15	-2	13	12	9	21	34	16	-4	12	14	13	27	39	-1	+6	+5		
機能性	36	41	77	40	25	65	142	39	42	81	35	37	72	153	+4	+7	+11		
農業化学	45	36	81	-6	89	83	164	51	47	98	-14	100	86	184	+17	+3	+20		
医薬	5	0	5	6	1	7	12	3	3	6	1	5	6	12	+1	-1	-0		
卸売	4	5	9	5	4	9	18	6	5	11	5	5	10	21	+2	+1	+3		
その他	1	1	2	1	3	4	6	1	1	2	0	4	4	6	+0	-0	-0		
調整額	-6	-8	-14	-7	-5	-12	-26	-9	-7	-16	-9	-9	-18	-34	-2	-6	-8		
合計	100	73	173	51	126	177	350	107	87	194	32	155	187	381	+21	+10	+31		

2018予想 (2018/5発表)											
上	下	計									
15	24	39									
68	73	141									
100	77	177									
6	9	15									
10	10	20									
1	1	2									
-16	-10	-26									
184	184	368									

2018年度売上高にみる将来の成長エンジン

1. 2018年5月発表

11 20 10 7	マノコンロンス			
2018年度 売上高規模(1)	3億円未満	3億円以上6億円未満	6億円以上9億円未満	合計
化学品	テピック新製品(液状) (ファインケミカル)			1 億円
機能性材料	ハイパーテック(高屈折率) (ディスプレイ・その他)調光フィルム材料 (ディスプレイ・その他)有機EL用ホール注入材 (ディスプレイ・その他)撥液バンク材料 (ディスプレイ・その他)位相差フィルム用配向材 (ディスプレイ・その他)ボルガノゾル(絶縁CTE) (無機・オルガノモノマーゾル)新規高屈(IM用フィルム) 	三次元実装材料 (半導体・その他) EUV下層膜 (半導体・その他) CMOSイメージセンサー材料 (半導体・その他)	オイル&ガス材料 (無機)	26億円
農業化学品	ネクスター (農業化学品・導入剤)	グレーシア (農業化学品・自社開発) トランスフォーム™/エクシード™ (農業化学品・導入剤)		9億円
医薬品 •その他	新規ジェネリック (ファインテック) (ファインテック) 細胞培養培地材料	マキサカルシトール (ファインテック)		6億円

合計 42億円

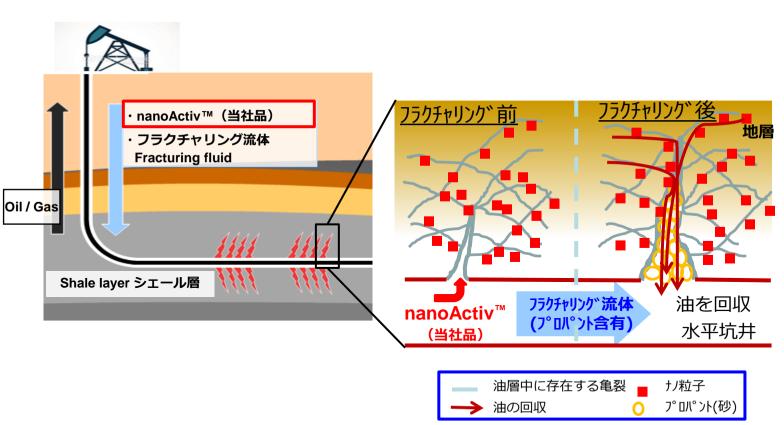
2018年度売上高にみる将来の成長エンジン (1)サンプル出荷に伴う試験費控除も含む

2. 2018年11月予想

2018年度 売上高規模(1)	3億円未満	3億円以上6億円未満	 6億円以上9億円未満	合計
化学品	テピック新製品(液状) (ファインケミカル)			
機能性材料	ハイパーテック(高屈折率) (ディスプレイ・その他) 調光フィルム材料 (ディスプレイ・その他) 有機EL用ホール注入材 (ディスプレイ・その他) 撥液バンク材料 (ディスプレイ・その他) 位相差フィルム用配向材 (ディスプレイ・その他) EUV下層膜 (半導体・その他) オルガノゾル(絶縁CTE) (無機・オルガノモノマーゾル) (半導体・その他) 新規高屈(IM用フィルム) (無機・その他) (無機・その他)	三次元実装材料(半導体・その他)	オイル&ガス材料 (無機)	22億円
農業化学品	ネクスター (農業化学品・導入剤) トランスフォーム™/エクシード™ (農業化学品・導入剤)	グレーシア (農業化学品・自社開発)		10億円
医薬品 ・その他	新規ジェネリック (ファインテック) 新規ジェネリック (ファインテック) (ファインテック)	マキサカルシトール (ファインテック)		7 億円

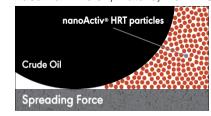
合計 39億円

オイル&ガス材料

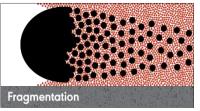


Brownian Motion/Diffusion ⇒ Spreading Force

Wasan & Nikolov, Nature, Vol. 423, 2003.



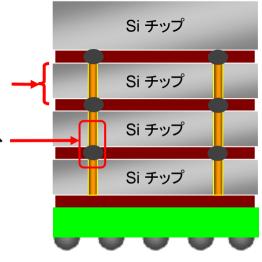




三次元実装材料

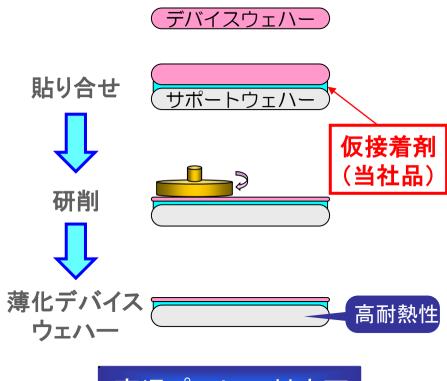
TSV加工の課題

- 基板の薄化 (< 50um)
- TSV形成に高温プロセス



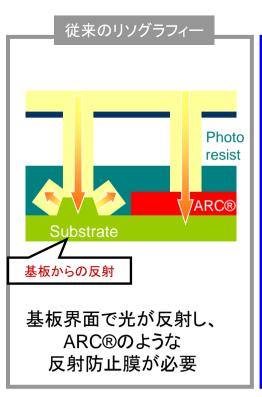
高温プロセスに対応した 薄化ウェハー取扱い技術が必要 ⇒ 仮接着システム

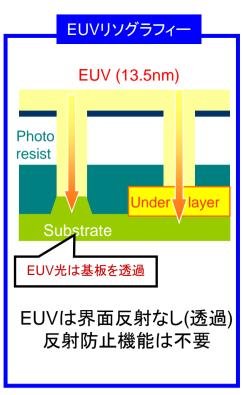
仮接着システム使用

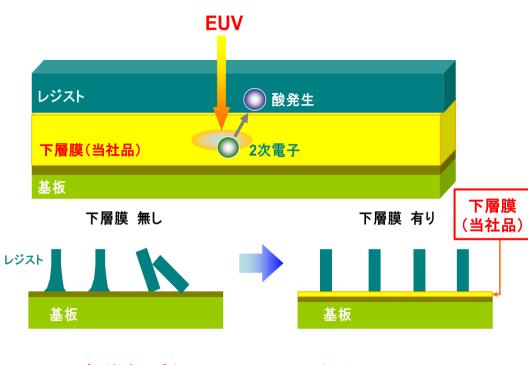


高温プロセス 対応可

EUV下層膜

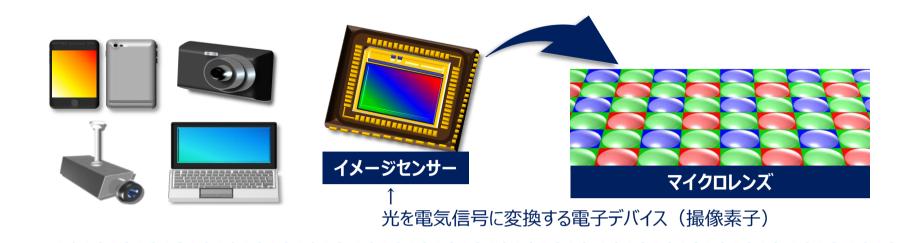


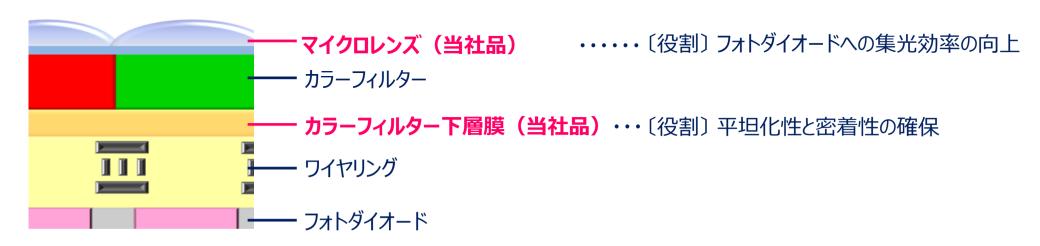




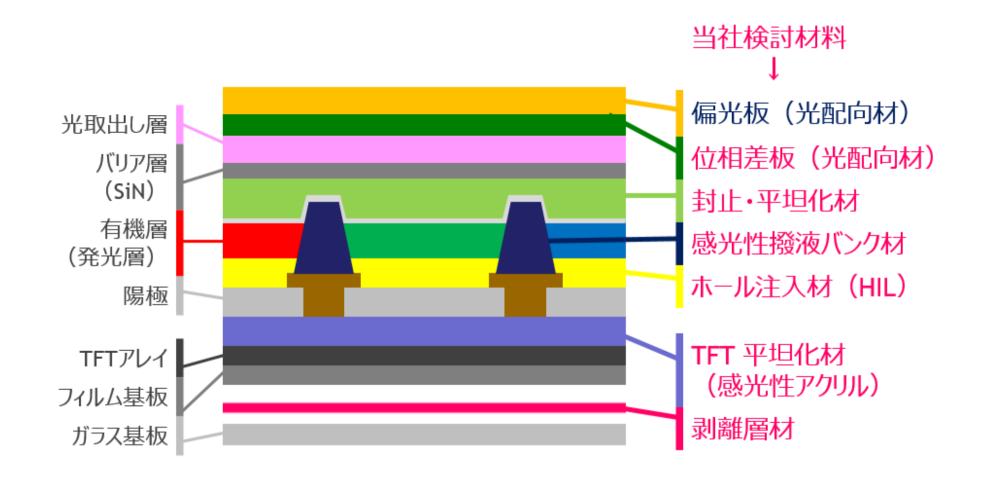
超微細パターン(<20nm)のため、 容易に基板の影響を受けて形状悪化、 倒れが発生

CMOSイメージセンサー材料





有機EL関連材料



細胞培養培地材料

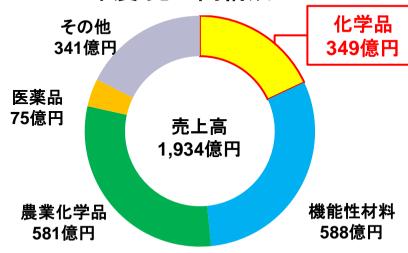




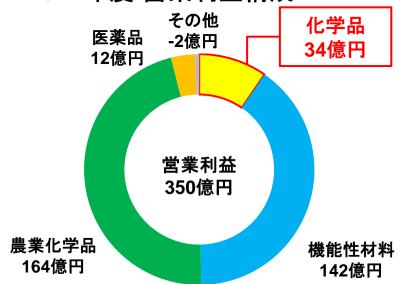


化学品セグメント概況-(A)業績

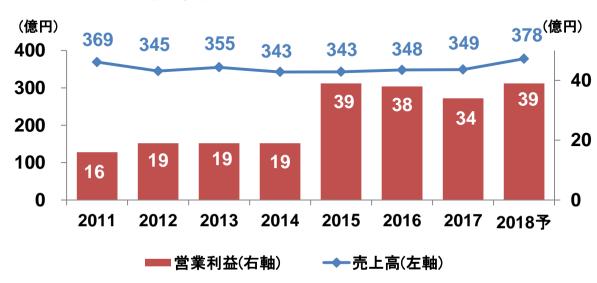
1. 2017年度 売上高構成

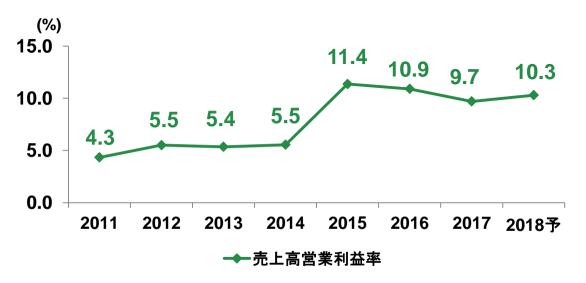


2. 2017年度 営業利益構成



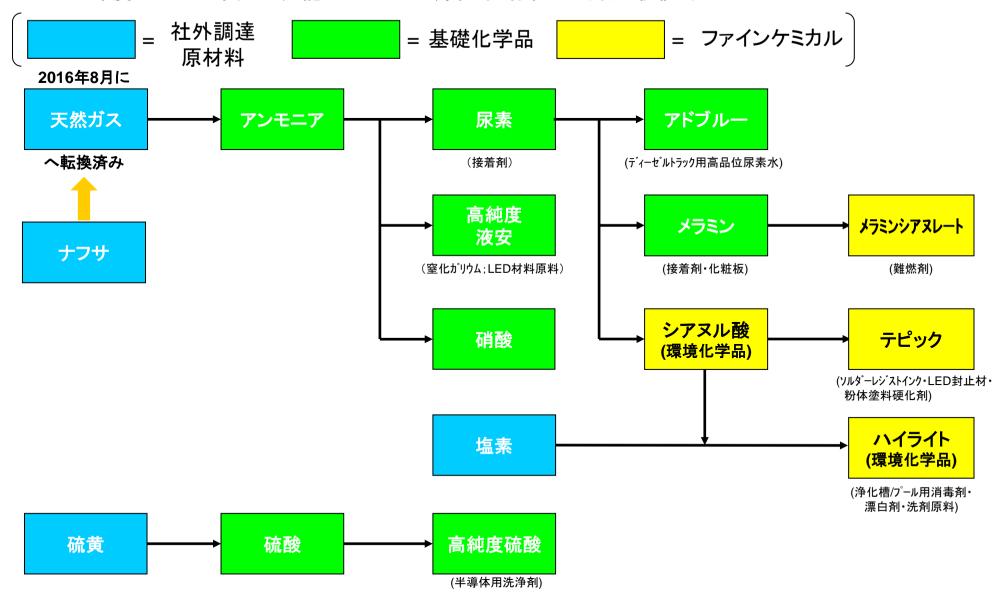
3. 化学品業績推移





化学品セグメント概況-(B)主要製品製造フロー

- ◆基礎化学品主要製品:アンモニア系製品と硫酸系製品
- ◆2017年度アンモニア国内生産能力シェア11%、高い自消率による付加価値向上



化学品セグメント概況-(C)ファインケミカル

2018上期売上高実績

<前年同期比>

◆テピック

一般向け輸出減収(数量減、価格上昇)、電材向け減収

国内構ばい,輸出増収,価格上昇

<2018/5業績予想比>

◆テピック

一般向け輸出上ぶれ、電材向け下ぶれ

◆環境化学品

◆環境化学品

国内下ぶれ、輸出上ぶれ

2018下期売上高予想

<前年同期比>

◆テピック

◆環境化学品

一般向け輸出増収、電材向け増収、価格上昇

国内增収,輸出增収, 価格上昇

<2018/5業績予想比>

◆テピック

◆環境化学品

一般向け輸出上ぶれ、電材向け上ぶれ

国内上ぶれ、輸出下ぶれ

		前年同期比 連結売上高成長率											
	主要製品	20)17実	績)18予 18/5 発	_	2018予想 (2018/11 発表)					
		上	下	計	上	下	計	上実績	下	計			
合計		-1%	+0%	-0%	+2%	+12%	+7%	-3%	+14%	+6%			
テヒ [°] ック	◆(用途)電材向け(ソルダーレジストインキ、LED周辺材料) 一般向け(粉体塗料硬化剤) ◆世界最大メーカー	+24%	+11%	+17%	-4%	+12%	+5%	-6%	+18%	+7%			
環境 化学品	◆(ハイライト用途)塩素化イソシアヌル酸を主原料とし、 プール、浄化槽等の殺菌、消毒に使用	-6%	-3%	-4%	+8%	+8%	+8%	+8%	+10%	+9%			

上記2製品グループの2017年度実績連結ファインケミカル売上高に占める割合:81%

◆ 2018年 テピック電材向け能力増強(投資額5億円、2019年8月完工予定)

化学品セグメント概況-(D)基礎化学品

2018上期売上高実績

<前年同期比>

◆メラミン

国内・輸出増収、価格上昇、17年・18年アンモニア系プラントトラブル(1)(2)

◆尿素・アドブルー

◆高純度硫酸

尿素減収、アドブル一増収 減収(客先工場システム更新で減産)

<2018/5業績予想比>

◆メラミン

国内・輸出下ぶれ、アンモニア系プラントトラブル(2)

◆尿素・アドブルー

尿素下ぶれ、アドブルー下ぶれ

◆高純度硫酸

下ぶれ(客先工場システム更新で減産)

2018下期売上高予想

<前年同期比>

◆メラミン

国内・輸出増収、価格上昇、17年アンモニア系プラントトラブル(1)

◆尿素・アドブルー 尿素減収、アドブルー増収

◆高純度硫酸

増収

<2018/5業績予想比>

◆メラミン

◆尿素・アドブルー

国内・輸出上ぶれ

尿素下ぶれ、アドブルー上ぶれ

◆高純度硫酸

上ぶれ

		前年同期比 連結売上高成長率											
	主要製品	20)17実絹	漬)18予 18/5 発	_	2018予想 (2018/11 発表)					
		上	下	計	上	下	計	上実績	下	計			
合計		+2%	-0%	+1%	+12%	+7%	+10%	+4%	+14%	+9%			
メラミン	◆(用途)接着剤、化粧板	-18%	-4%	-10%	+62%	+26%	+41%	+27%	+46%	+39%			
尿素 アドブルー	◆(用途)接着剤、ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水	+1%	+4%	+2%	+5%	+6%	+5%	-3%	+7%	+2%			
高純度 硫酸	◆(用途)半導体用洗浄剤 ◆国内最大メーカー	+23%	+6%	+14%	-1%	+4%	+1%	-4%	+5%	+0%			

上記3製品グループの2017年度実績連結基礎化学品売上高に占める割合: 38%

- (1) 2017年8月から10月にメラミンプラントトラブル停止、10月12日復旧 (損失試算)上期3.7億円、3Q 1.2億円 2018年3月アンモニアプラントトラブル停止、3月24日復旧 (損失試算)4Q 2.7億円
- (2) 2018年上期アンモニアトラブル数回(完全復旧済) (損失試算) 上期 3.8億円

化学セグメント概況 - (E)セグメント収益動向

(億円)

			2017実績(A)							018予加 18/5発		2018予想(B) (2018/11発表)							増減 (B)-(A)		
		1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	上	ᅡ	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
劳	上高	88	79	167	92	90	182	349	182	198	380	87	83	170	102	106	208	378	+3	+26	+29
	ファイン	28	25	53	28	25	53	106	54	59	113	27	24	51	28	34	62	113	-2	+9	+7
	基礎	60	54	114	64	65	129	243	128	139	267	60	59	119	74	72	146	265	+5	+17	+22
営	業利益	15	-2	13	12	9	21	34	15	24	39	16	-4	12	14	13	27	39	-1	+6	+5

2018上実績

<前年同期比>

- (ファインケミカル) ◆ テピック一般・電材減収、環境増収
 - ◆ 売上高減少、営業利益減少
- (基礎化学品)◆ メラミン増収、尿素・アドブルー減収、高純度硫酸減収
 - ◆ ア系価格上昇、17年・18年ア系プラントトラブル(p24参照)
 - ◆ 原燃料等コスト上昇、工場固定費上昇
 - ◆ 売上高増加、営業利益減少
- (セグメント) ◆ 売上高+3億円、営業利益-1億円

< 2018/5業績予想比>

- (ファインケミカル) ◆ 売上高:テピック一般上ぶれ、電材下ぶれ、環境予想通り、 その他製品下ぶれ
 - ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎化学品) ◆ 売上高:メラミン下ぶれ、尿素・アドブルー下ぶれ、 高純度硫酸下ぶれ
 - ◆ 18年ア系プラントトラブル(p24参照)
 - ◆ 原燃料等コスト上昇下ぶれ
 - ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ

(セグメント) ◆ 売上高-12億円、営業利益-3億円

2018下予想

<前年同期比>

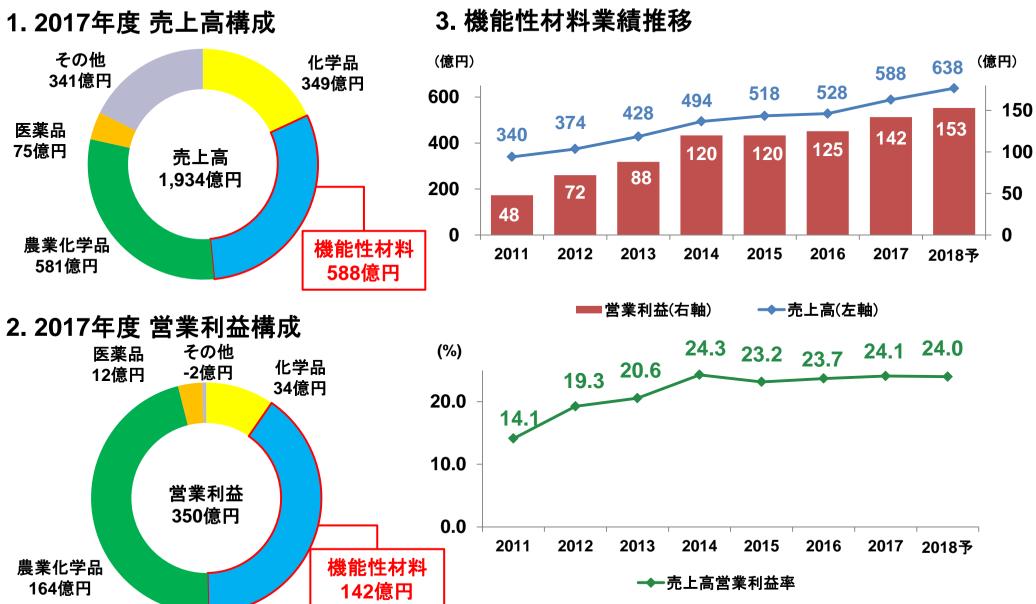
- (ファインケミカル) ◆ テピック一般・電材増収、環境増収、価格上昇
 - ◆ 売上高増加、営業利益増加
- (基礎化学品) ◆ メラミン増収、尿素・アドブルー増収、高純度硫酸増収
 - ◆ ア系価格上昇、17年ア系プラントトラブル(p24参照)
 - ◆ 原燃料等コスト上昇
 - ◆ 売上高増加、営業利益増加
- (セグメント) ◆ 売上高+26億円、営業利益+6億円

< 2018/5業績予想比>

- (ファインケミカル) ◆ 売上高:テピック一般・電材上ぶれ、環境上ぶれ
 - ◆ 売上高上ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎化学品) ◆ 売上高:メラミン上ぶれ、尿素・アドブルー上ぶれ、 高純度硫酸上ぶれ
 - ◆ア系価格上ぶれ
 - ◆ 原燃料等コスト上昇上ぶれ
 - ◆ 売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
- (セグメント) ◆ 売上高+10億円、営業利益+3億円

(白紙)

機能性材料セグメント概況 - (A) 業績



機能性材料セグメント概況 – (B) 2014-2018年度 売上高構成推移



サンエバー:液晶配向材用ポリイミド

ARC®: 半導体用反射防止コーティング材

多層材料:半導体用多層プロセス材料

(OptiStack®)

スノーテックス: 研磨材(シリコンウェハー、

化合物半導体、半導体CMP等)

脱硝触媒、特殊鋼板

オルガノゾル・

モノマーゾル:電子機器用フィルム表面処理、

樹脂添加剤

オイル&ガス材料:シェールオイル・ガス採掘効率向上材

*2014-2015:単体ベース

機能性材料セグメント概況 - (C-1) ディスプレイ材料

2018上期売上高実績

<前年同期比> <2018/5業績予想比>

サンエバー増収+8% サンエバー上ぶれ

IPS増収、VA横ばい、TN増収、光IPS販売好調 IPS上ぶれ、VA下ぶれ、TN予想通り

2018下期売上高予想

<前年同期比>

<2018/5業績予想比>

サンエバー増収+6% サンエバー上ぶれ

IPS-VA增収、TN減収、光IPS販売好調

IPS上ぶれ、VA・TN下ぶれ

	前年同期比 連結売上高成長率												
主要製品	20	017実糸	真		018予 額 018/5 発		2018予想 (2018/11 発表)						
	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計				
サンエバー	+11%	+6%	+8%	+2%	+5%	+4%	+8%	+6%	+7%				
その他ディスプレイ材料 計(1)	+21%	-2%	+9%	+9%	+99%	+53%	-4%	+28%	+12%				
ディスプレイ材料合計	+11%	+6%	+8%	+2%	+7%	+5%	+8%	+6%	+7%				

- (1) 有機EL用塗布型ホール注入材、位相差フィルム用配向材等
 - ◆ 2016年9月 Solvay社と、塗布型有機EL用ホール注入材とホール輸送材の特許およびノウハウ購入契約締結
 - ◆ 2017年7月 中国蘇州に現地法人(NSU)設立(技術支援、顧客サービス強化、製品開発)

機能性材料セグメント概況 - (C-2) サンエバー モード別売上高推移



くモード別前年同期比連結売上高成長率>

	2017実績	2018予想 (2018/5発表)	2018予想 (2018/11発表)
TN			
VA	11		
IPS	//		
合計	+8%	+4%	+7%

前年同期比売上高増減

+20~+29%	111
+10~+19%	11
+0~+9%	1
-0~-9%	Y
-10~-19%	77
-20~-29%	777

*TN: Twisted Nematic, VA: Vertical Alignment, IPS: In-Plane Switching

機能性材料セグメント概況 - (D) 半導体材料

2018上期売上高実績

<前年同期比>

半導体材料合計増収+17%

KrF減収、ArF・その他半導体材料増収(多層材料増収、 EUV下層膜・CMOSイメージ・センサー材料・三次元字装材計増収)

<2018/5業績予想比>

半導体材料合計上ぶれ

KrF予想通り、ArF上ぶれ、その他半導体材料予想通り(多層材料上ぶれ、

EUV下層膜・CMOSイメージセンサー材料・三次元実装材計下ぶれ)

2018下期売上高予想

<前年同期比>

半導体材料合計増収+9%

KrF減収、ArF・その他半導体材料増収(多層材料増収、

EUV下層膜・CMOSイメージセンサー材料・三次元実装材計増収)

<2018/5業績予想比>

半導体材料合計上ぶれ

KrF下ぶれ、ArF上ぶれ、その他半導体材料下ぶれ(多層材料上ぶれ、 EUV下層膜・CMOSイメージセンサー材料・三次元実装材計下ぶれ)

				前年	同期比	連結売	上高成	長率			
	主要製品	2	017実約			018予念	_	2018予想			
				•	(20	018/5 発表	₹)	(2018/11 発表)			
		上	下	計	上	下	計	上実績	下	計	
	KrF (ARC®)	+13%	+4%	+8%	-1%	+2%	+0%	-1%	-6%	-4%	
	ArF (ARC®)	+22%	+19%	+21%	+3%	-3%	+0%	+14%	+4%	+9%	
小	計	+16%	+12%	+14%	+1%	-1%	+0%	+9%	+2%	+6%	
そ	の他半導体材料 計(1)	+37%	+44%	+41%	+43%	+34%	+38%	+43%	+32%	+37%	
半	導体材料合計	+20%	+18%	+19%	+10%	+7%	+9%	+17%	+9%	+13%	

- (1) 多層材料(OptiStack®)、EUV下層膜、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材等
- ◆ 次世代ロードマップ進行に沿った評価機器、開発設備、生産設備投資

主要投資(承認ベース): 14年 評価機器11億円

15年 開発設備28億円·評価機器8億円、增強8億円、NCK*7億円、半導体材料研5億円

16年 NCK*26億円、評価機器10億円、半導体材料研4億円

17年 半導体材料研4億円

18年 半導体分析新棟30億円、ARC®増強2億円

*NCK:連結子会社(韓国)、DP・半導体材料のR&D・製造・販売 31

機能性材料セグメント概況 -

(E) スノーテックス、オルガノゾル・モノマーゾル、オイル&ガス材料

2018上期売上高実績

<前年同期比> ◆スノーテックス 増収(研磨材減収、一般用途増収)

◆オルガノゾル・モノマーゾル 減収 ◆オイル&ガス材料 増収

<2018/5業績予想比> ◆スノーテックス 下ぶれ(研磨材上ぶれ、一般用途下ぶれ)

◆オルガノゾル・モノマーゾル 下ぶれ

◆オイル&ガス材料 下ぶれ

2018下期売上高予想

<前年同期比> ◆スノーテックス 減収(研磨材減収、一般用途増収)

◆オルガノゾル・モノマーゾル 増収

◆オイル&ガス材料 増収

<2018/5業績予想比> ◆スノーテックス 下ぶれ(研磨材下ぶれ、一般用途予想通り)

◆オルガノゾル・モノマーゾル 下ぶれ ◆オイル&ガス材料 下ぶれ

	前年同期比 連結売上高成長率										
主要製品	2017実績			2018予想 (2018/5 発表)			2018予想 (2018/11 発表)				
	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計		
スノーテックス	+7%	+7%	+7%	+3%	+1%	+2%	+2%	-1%	+1%		
オルガノゾル・モノマーゾル	+21%	-10%	+4%	-5%	+13%	+4%	-8%	+9%	-0%		
オイル&ガス材料	+513%	+80%	+164%	+54%	+64%	+60%	+40%	+62%	+52%		

上記3製品グループの2017年度連結無機売上高に占める割合: 83%

無機コロイド合計	+15%	+9%	+12%	+8%	+7%	+8%	+8%	+6%	+7%
----------	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

機能性材料セグメント概況 – (F) セグメント収益動向

(億円)

			201	7実績(/	A)			2018予想 (2018/5発表)			2018予想(B) (2018/11発表)					増減 (B)-(A)				
	1Q	2Q	Ŧ	3Q	4Q	下	計	上	ㅜ	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	141	150	291	151	146	297	588	306	319	625	156	164	320	158	160	318	638	+29	+21	+50
営業利益	36	41	77	40	25	65	142	68	73	141	39	42	81	35	37	72	153	+4	+7	+11

2018上実績

<前年同期比>

- ◆ サンエバー増収(IPS·TN増収、VA横ばい)
- ◆ 半導体増収(KrF減収、ArF·その他増収(多層·EUV等新材料増収))
- ◆ 無機増収(スノーテックス増収、オルガノゾル・モノマーゾル減収、 オイル&ガス材料増収)
- ◆ 固定費増加+11億円(連結、R&D費用含む)
- ◆ 在庫変動影響-3億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高+29億円、営業利益+4億円 (DP増益、半導体増益、無機減益)

< 2018/5業績予想比>

- ◆ サンエバー売上高上ぶれ(IPS上ぶれ、VA下ぶれ、TN予想通り)
- ◆ 半導体売上高上ぶれ(KrF予想通り、ArF上ぶれ、 その他予想通り(多層上ぶれ、EUV等新材料下ぶれ))
- ◆ 無機売上高予想通り(スノーテックス下ぶれ、オルガノゾル・モノマーゾル下ぶれ、オイル&ガス材料下ぶれ、その他上ぶれ)
- ◆ 固定費下ぶれ6億円(連結、R&D費用含む)
- ◆ 売上高+14億円、営業利益+13億円 (DP利益上ぶれ、半導体利益上ぶれ、無機利益予想通り)

2018下予想

<前年同期比>

- ◆ サンエバー増収(IPS·VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体増収(KrF減収、ArF·その他増収(多層·EUV等新材料増収))
- ◆ 無機増収(スノーテックス減収、オルガノゾル・モノマーゾル増収、 オイル&ガス材料増収)
- ◆ 固定費増加+8億円(連結、R&D費用含む)
- ◆ 売上高+21億円、営業利益+7億円 (DP利益増益、半導体利益増益、無機利益横ばい)

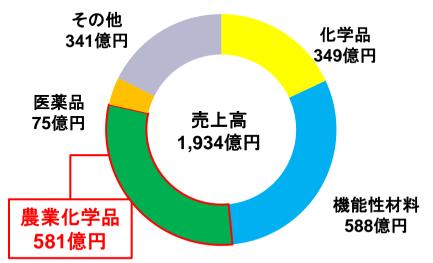
< 2018/5業績予想比>

- ◆ サンエバー売上高上ぶれ(IPS上ぶれ、VA·TN下ぶれ)
- ◆ 半導体売上高上ぶれ(ArF上ぶれ、KrF・その他下ぶれ(多層上ぶれ、 EUV等新材料下ぶれ))
- ◆ 無機売上高下ぶれ(スノーテックス下ぶれ、オルガノゾル・モノマーゾル下ぶれ、オイル&ガス材料下ぶれ)
- ◆ 固定費上ぶれ2億円(連結、R&D費用含む)
- ◆ 売上高-1億円、営業利益-1億円 (DP利益予想通り、半導体利益下ぶれ、無機利益上ぶれ)

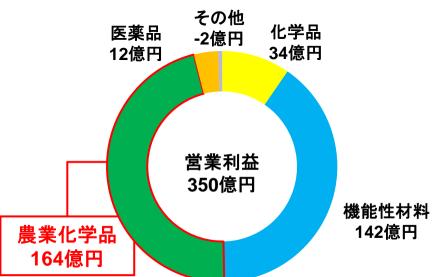
(白紙)

農業化学品セグメント概況-(A)業績

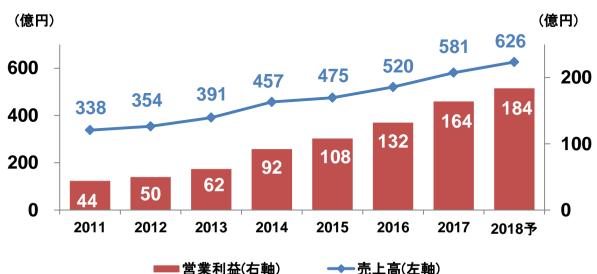
1. 2017年度 売上高構成

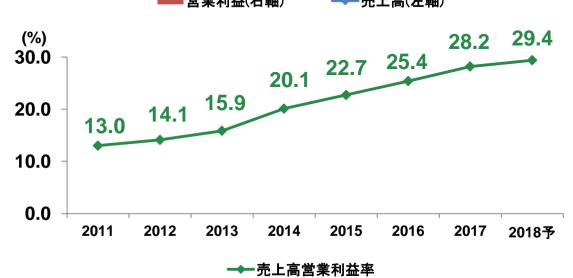


2. 2017年度 営業利益構成



3. 農業化学品業績推移





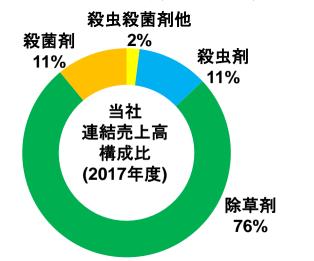
農業化学品セグメント概況-(B)売上高成長率(値引前)

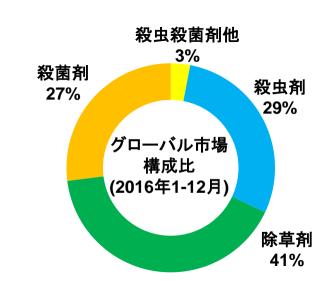
		前年同期比 売上高成長率						
主要製品名 (2017年 売上高順)	種類	2016実績 ^(単体)	2017実績 (連結)	2018予想 (連結2018/5発表)	2018予想 (連結2018/11発表)			
ラウンドアップ(1)	除草	+13%	+8%	+2%	-6%			
フルララネル	動物薬		11111					
アルテア	除草							
タルガ	除草							
パーミット	除草			11				
その他主要製品(2)	-	11						
農業化学品 セグメント合計	1	+10%	+10%	+8%	+7%			

前年同期比売上高増減

+40~+59%	11111
+30~+39%	1111
+20~+29%	111
+10~+19%	11
+0~+9%	1
-0~-9%	٧
-10~-19%	77
-20~-29%	777
-30%~-39%	7777

- (1) ラウンドアップマックスロードALは2017年度ラウンドアップ売上高全体の約17%を占める
- (2) ライメイ、シリウス、パルサー(チフルザミド)、スターマイト、サンマイト





農業化学品セグメント概況-(C)主要製品

上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
2002	ラウンドアップ	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
2009	プレバソン	殺虫剤	導入	米国デュポン社より導入
2010	ラウンドアップマックスロード AL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤 2016年ALII、2018年ALII上市、急成長
2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
2013	フルララネル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MSD社*向けに出荷開始
2014	ブラベクト**	ペット動物用医薬品	-	フルララネルを原薬とし、米国MSD社が4月欧州、6月米国で上市
2014	エクシレル/プリロッソ	殺虫剤	導入	米国デュポン社より導入
2015	ブラベクト**	ペット動物用医薬品	-	7月インターベット社(MSD社の日本法人)が日本で上市
2015	トレファノサイド	除草剤	導入	米国ゴーワン社がダウ社より買収、当社は国内販売独占権を継承
2017	ネクスター	殺菌剤	導入	スイス シンジェンタ社より導入
2017	トランスフォーム™/エクシード™	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
2017	エグゾルト**	家畜動物用医薬品	-	9月米国MSD社による、欧州でのニワトリ用製品上市
2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効、ミツバチへの影響が少ない 2018年韓国で上市
2022	未定(ピラプロポイン)(NC-241)	殺菌剤	自社開発	汎用性
2024	未定(NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや 難防除雑草クログワイに高い効果を持つ

*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

**ブラベクト、エグゾルト:MSD社の販売製品名

- ◆2017年度連結実績 輸出比率:38%(アジア19%、欧州·アフリカ72%、北·中南米9%) ※フルララネルを含める
- ◆2011年9月 イハラブラス社(ブラジル)に3%資本参加
- ◆2014年1月 中国、2016年8月ブラジル、2017年7月インドに現地法人設立(販売、普及、製品開発支援)
- ◆2017年3月 フルララネル生産体制強化(外部委託製造所複数化)
- ◆2017年4月 生物科学研究所整備計画完了(医薬品と共通、2010-17年で投資額合計64億円)
- ◆2018年9月 グレーシア原体製造設備完工(投資額14億円)、9月フルララネル製造設備完工
- ◆2018年 埼玉工場製剤研究開発棟新設(投資額6億円、2019年9月完工予定)

農業化学品セグメント概況-(D)フルララネル

◆フルララネル(Fluralaner)

BRAVECTO・EXZOLTの有効成分として、当社がMSD社に供給するこれまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している

◆ブラベクト(BRAVECTO)

MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れ、さらに、通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間(クリイロコイタマダニは8週間)にわたって持続するという優れた特長を有する

現在85か国以上で発売中

- ●犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)
 - 2014年4月 欧州
 - 2014年6月 米国
 - 2015年7月 日本
- ●犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)
 - 2016年7月 EU(猫)
 - 2016年12月 米国(猫)
 - 2017年1月 米国・ドイツ・オーストリア(犬)
 - 2018年6月 日本(猫)

◆エグゾルト(EXZOLT)

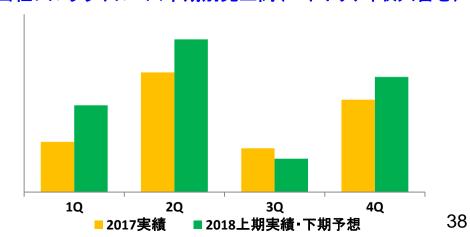
鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与) 2017年9月 欧州

◆ブラベクトプラス(BRAVECTO Plus)

猫向け外内部寄生虫スポットオン合剤 2018年5月 EUで販売承認 ■世界外部寄生虫薬 市場規模推定



■当社フルララネル 四半期別売上高(ロイヤリティ収入含む)



農業化学品セグメント概況 - (E) セグメント収益動向

(億円)

		2017実績(A)							2018予想 2018予想(B) (2018/5発表) (2018/11発表)							増減 (B)-(A)				
	1Q	1Q 2Q 上 3Q 4Q 下 計						上	ᅿ	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	146	115	261	64	256	320	581	289	341	630	164	123	287	57	282	339	626	+26	+19	+45
営業利益	45							100	77	177	51	47	98	-14	100	86	184	+17	+3	+20

2018上実績

<前年同期比>

- ◆ 増収:フルララネル、パルサー(輸出)、タルガ(輸出)、 パーミット(輸出)、グレーシア(輸出)
- ◆ 減収:ラウンドアップML(猛暑や自然災害の影響)、 アルテア(輸出)、サンマイト(輸出)、ライメイ(輸出)。
- ◆ 固定費増加+5億円
- ◆ 在庫変動影響+5億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+26億円、営業利益+17億円

< 2018/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ:フルララネル、アルテア(国内)、パルサー、パーミット(輸出)、スターマイト(輸出)、ライメイ、タルガ(輸出)
- ◆ 売上高下ぶれ:ラウンドアップML・AL、サンマイト、シリウス
- ◆ 固定費下ぶれ4億円
- ◆ 在庫変動影響-4億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高-2億円、営業利益-2億円

2018下予想

<前年同期比>

- ◆ 増収:アルテア、フルララネル、グレーシア(輸出)、パルサー(輸出)、 タルガ(輸出)、ラウンドアップML・AL
- ◆ 減収:ライメイ(輸出)、サンマイト
- ◆ 固定費増加+5億円
- ◆ 売上高+19億円、営業利益+3億円

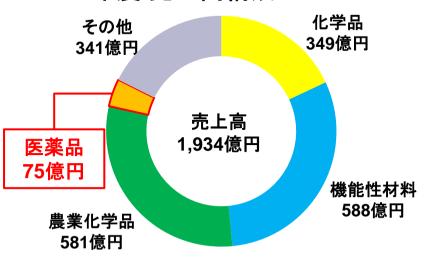
< 2018/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ:アルテア(国内)、グレーシア(輸出)、ライメイ(輸出)、 スターマイト(輸出)、パルサー、ラウンドアップML
- ◆ 売上高下ぶれ:パーミット、サンマイト(輸出)、シリウス
- ◆ 在庫変動影響+7億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-2億円、営業利益+9億円

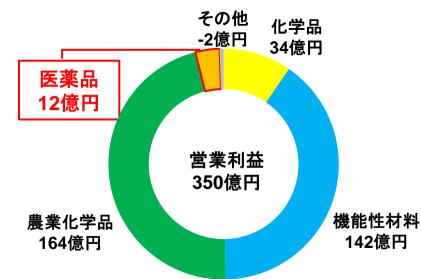
(白紙)

医薬品セグメント概況 - (A) 業績

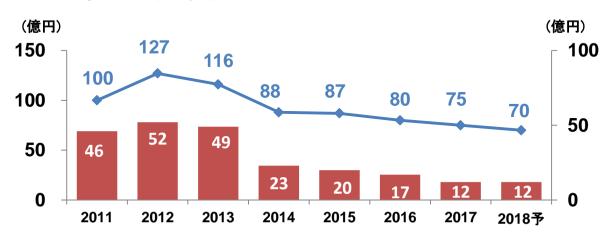
1. 2017年度 売上高構成

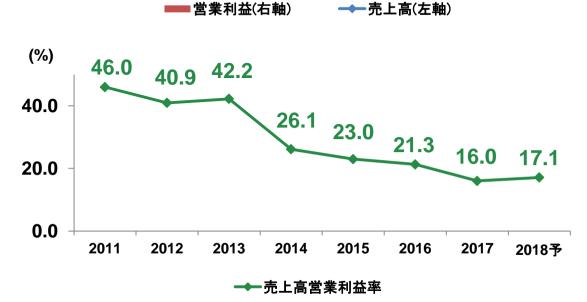


2. 2017年度 営業利益構成



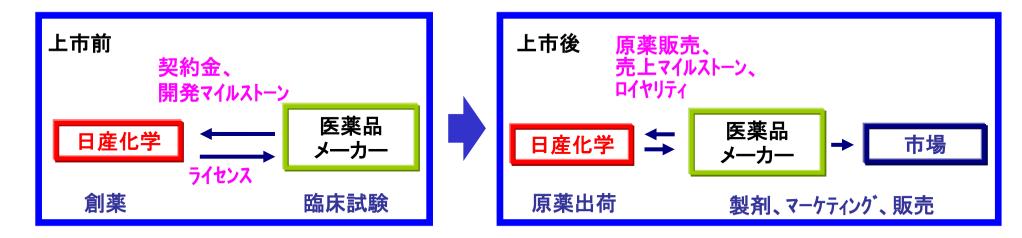
3. 医薬品業績推移





医薬品セグメント概況 - (B) 新薬ビジネスモデルとリバロ

◆ 創薬、開発に特化し、販売部門を有さないユニークな医家向け医薬ビジネスモデル



♦リバロ

	2013実績	2014実績	2015実績	2016実績	2017実績	2018予想 (2018/5発表)	2018予想 (2018/11発表)
国内末端売上高(薬価ベース、億円)	526	345	297	239	210	-	-
当社原薬売上高(国内外合計、億円)	102	69	58	52	48	44	45
当社原薬売上高 前年同期比成長率	-2%	-32%	-15%	-11%	-7%	-8%	-7%
(うち国内)	(-2%)	(-46%)	(-27%)	(-42%)	(-73%)	(+4%)	(-42%)
(うち海外)	(-1%)	(+21%)	(+5%)	(+26%)	(+29%)	(-10%)	(-2%)

- 2013年8月 国内物質特許満了
- 2014年4月 米国で後発品に対する特許権侵害訴訟提起 (ANDA訴訟: Abbreviated New Drug Application訴訟)
- 現在25か国で販売中

医薬品セグメント概況 – (C) パイプライン

開発品	作用機序	適応症候補	パートナー
NIP-022	・トロンホ [・] ホ [°] ェチン(TPO) 受容体活性化	-血小板減少症	・小野薬品工業とのライセンス契約終了(2014/4)・ヤクルト本社とライセンス契約締結(2015/10)・健常成人に対する国内第 I 相臨床試験を終了(2017/7)
NTC-801	・アセチルコリン感受性カリウム チャネル(IKACh)阻害	・不整脈 (心房細動など)	 ・帝人ファーマ、ブリストルマイヤース・スクイブとの ライセンス契約終了(2015/9) ・新たな導出先検討中

◆戦略的共同研究

- 2016年1月 塩野義製薬と新規抗真菌薬創製を目指した共同研究契約締結
- 2017年4月 塩野義製薬と新規抗疼痛薬創製を目指した共同研究契約締結

◆新規創薬研究

戦略的に構築した化合物ライブラリー、精密有機合成力、最先端の評価技術を駆使して、革新的な医薬品を 創り出す

- 自社創薬研究: 循環器疾患領域、神経疾患領域の創薬研究に集中
- 共同創薬研究: オープンイノベーションの効果的な活用(塩野義製薬など)

医薬品セグメント概況 - (D) ファインテック

- ◆医薬品開発研究参加型事業で、前臨床から商業生産まで、新薬の原薬・中間体製造、 プロセス研究を受託
- ◆2013年 10月 経営資源(合成技術、製造・研究・品質管理体制)の効率的運用とシナジーを狙い、 医薬品事業部と統合し、創薬事業と受託事業の二本柱とした
- ◆高活性・高付加価値ジェネリック原薬(プロスタグランジンやビタミンD3等)を中心として、 新規案件獲得に注力中

2018上期売上高実績

<前年同期比> <2018/5業績予想比> 増収(出荷時期のずれ) 下ぶれ(一部出荷後ろ倒し、出荷量下ぶれ)

2018下期売上高予想

<前年同期比> <2018/5業績予想比> 減収(出荷量減少) 下ぶれ(出荷量下ぶれ)

	前年同期比 連結売上高成長率												
20)17実	績)18予 18/5 発	_		18予 想 8/11 発	_					
上	下	計	上	下	計	上実績	下	計					
+9%	+5%	+6%	+25%	-15%	+3%	+18%	-20%	-3%					

医薬品セグメント概況 - (E) ペプチスター(株)への出資

◆ペプチスター(株)(以下PS社)への9億円出資(第三者割当増資後出資比率8.2%)

◆PS社: ペプチドリーム(株)、塩野義製薬(株)、積水化学工業(株)の3社合弁による

世界初の特殊ペプチド原薬製造受託会社(2017 年 9月設立)

◆PS社資金調達: 日本医療研究開発機構(AMED)の

医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE) 90億円

第三者割当增資 約110億円 合計約200億円

◆PS社事業計画: 2019年秋に特殊ペプチド医薬品原薬の本格製造を目指す

◆当社の役割: 特殊ペプチドの大量生産に適した液相法製造技術の開発

◆当社事業への影響: これまで当社で開発してきた特殊ペプチド原薬の新たな製造技術に磨きをかけ、

飛躍的なコスト削減を達成することにより、医薬品受託製造事業の拡大を図る

医薬品セグメント概況 - (F) セグメント収益動向

(億円)

		2017実績(A)							018予加 18/5発:		2018予想(B) (2018/11発表)							増減 (B)-(A)		
	1Q	1Q 2Q 上 3Q 4Q 下 計						H	ᅿ	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実 下 計		計
売上高	21	14	35	23	17	40	75	38	34	72	18	19	37	13	20	33	70	+2	-7	-5
営業利益	5	0	5	6	1	7	12	6	9	15	3	3	6	1	5	6	12	+1	-1	-0

2018上実績

<前年同期比>

- ◆ リバロ増収(国内減収、輸出増収)
- ◆ ファインテック増収
- ◆ 売上高+2億円、営業利益+1億円

< 2018/5業績予想比>

- ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内下ぶれ、輸出上ぶれ)
- ◆ ファインテック売上高下ぶれ
- ◆ 売上高-1億円、営業利益予想通り

2018下予想

<前年同期比>

- ◆ リバロ減収(国内減収、輸出減収)
- ◆ ファインテック減収
- ◆ 少額一時金なし
- ◆ 在庫変動影響+2億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-7億円、営業利益-1億円

< 2018/5業績予想比>

- ◆リバロ上ぶれ(国内下ぶれ、輸出上ぶれ)
- ◆ ファインテック下ぶれ
- ◆ 少額一時金なし
- ◆ 固定費上ぶれ1億円
- ◆ 売上高-1億円、営業利益-3億円

新中期経営計画 Vista2021 (2016-2021)(2016年5月発表)数値目標 (A)

予想(2018/11発表)

2018

2,055

2016

1,875

" (億円)

2,500

2021

中計(2016/5発表)

2018

2,170

ル上同		1,003		1,954		2,033		1,073		2,170		2,300
営業利益		314		350		381		297		350		400
経常利益		317		362		401		304		356		408
当期純利益		240		271		300		230		271		310
売上高営業利益率		17.4%		18.1%		18.5%		15.8%	16.1%			16.0%
ROE		15.1%		16.1%		16.5%	14.3%		14%以上			14%以上
配当性向		33.1%		37.7%	40.6%		33.3%			40%		40%
総還元性向		70.4%		70.7%	57.3%		7	70%維持		70%維持		70%維持
(諸元)	上105 / 下112											
為替レート(円/デル)	上105/下112 上111/下111				上110/7	F110	2016年度以	降 115				
ТЭТ (Ш/Ы)	上 31,400 / 下 38,200 上 37,700 / 下 46,20				上 51,200 / 7	52.400	35,40	o	2	2017年度以	降 51,100	
ナフサ(円/kl)	± 31,4007 P	,	,	-,	, .	0=, :00						
ププザ (円/KI)	± 31,4007 P				<u> </u>	02,100					•	(億円)
	± 31,4007 p	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	績	, 11	予想(201	,)	I .	中計(201		,	(億円)
2. セグメント		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, -	,	予想(201	,		売上高	中計(201	16/5発表)	営業利益	
		実	績	,	予想(201	8/11発表)		売上高 2018	中計(201 2021	16/5発表)	営業利益 2018	
2. セグメント	売」	実	養 営業 2016	利益	予想(201 売上高 2018	8/11発表 営業利益 2018	2016			16/5発表)		
2. セグメント (1)	売」 2016	実 上高 2017	積 営業 2016 38	利益 2017	予想(201 売上高 2018 378	8/11発表。 営業利益 2018	2016 9 354	2018 380	2021	2016	2018	2021
2. セグメント (1) 化学品	売」 2016 348	実 上高 2017 349	積	利益 2017 34	予想 (201 売上高 2018 378 638	8/11発表。 営業利益 2018	2016 9 354 3 553	2018 380	2021 405	16/5発表) 2016 49	2018 40	2021
2. セグメント (1) 化学品 機能性材料	売」 2016 348 528	実 上高 2017 349 588	精 営業 2016 38 125 132	利益 2017 34 142	予想 (201 売上高 2018 378 638 626	8/11発表 営業利益 2018 3: 15:	2016 9 354 3 553 4 521	2018 380 680	2021 405 829	16/5発表) 2016 49 117	2018 40 154	2021 45 184
2. セグメント (1)化学品 機能性材料 農業化学品	売」 2016 348 528 520 80	実 上高 2017 349 588 581	精 営業 2016 38 125 132	利益 2017 34 142 164	予想 (201 売上高 2018 378 638 626 70	8/11発表 営業利益 2018 3 15 18	2016 9 354 3 553 4 521	2018 380 680 586 81	2021 405 829 670	2016 49 117 113	2018 40 154 129	2021 45 184 167

⁽¹⁾ 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

実績

1,803

2017

1,934

2016

1. PL

売上高

新中期経営計画 Vista2021 (2016-2021)(2016年5月発表) ターゲットとする経営指標 (B)

- ◆ 売上高営業利益率
 - 15%以上維持
- ◆ ROEを継続して最重視
 - 14%以上維持
- ◆ 配当性向
 - 現状実績30%から段階的に引き上げ、2018年度以降40%
- ◆ 総還元性向
 - 70%維持(新規に目標設定)
- ◆ 高付加価値、研究開発型企業
 - 一 売上高研究開発費比率 8%以上

2018予想(2018年11月発表)と2018中計(2016年5月発表)の差異

(億円)

		2018予想 (A)	2018中計 (B)		(A) - (B)
化学品	売上高	378	380	-2	◆上ぶれ:メラミン輸出、高純度硫酸、テピック一般 ◆下ぶれ:メラミン国内、尿素・アドブルー、高純度液安、テピック新グレード
16子前	営業利益	39	40	-1	◆売上高下ぶれ、原燃料コスト下ぶれ、価格上昇、固定費計画通り ◆ファイン下ぶれ、基礎上ぶれ
機能性材料	売上高	638	680	-42	◆上ぶれ: 光IPS、KrF、EUV下層膜、三次元実装材料、スノーテックス研磨、 オルガノゾル・モノマーゾル ◆下ぶれ: ディスプレイ(サンエバーTN、ラビングIPS、VA、ハイパーテック)、 半導体(ArF、多層材料、CMOSイメージセンサー材料、新規リソ材料)、 有機EL関連材料、無機(オイル&ガス材料)
	営業利益	153	154	-1	◆売上高下ぶれ、半導体固定費上ぶれ、ディスプレイ固定費下ぶれ、無機固定費上ぶれ ◆ディスプレイ上ぶれ、半導体下ぶれ、無機計画通り
農業化学品	売上高	626	586	+40	◆上ぶれ:フルララネル、アルテア、ラウンドアップ、グレーシア(輸出) ◆下ぶれ:パーミット(輸出)、パルサー(輸出)、タルガ(輸出)
A CONTRACT OF THE	営業利益	184	129	+55	◆売上高上ぶれ、固定費下ぶれ
医薬品	売上高	70	81	-11	◆上ぶれ:リバロ輸出 ◆下ぶれ:リバロ国内、一時金、ファインテック
	営業利益	12	20	-8	◆売上高下ぶれ、一時金下ぶれ、固定費計画通り
卸売・その他・	売上高	343	443	-100	◆卸売下ぶれ-27、その他国内子会社下ぶれ-12、調整額計算-61
調整	営業利益	-7	7	-14	◆卸売下ぶれ-2、その他国内子会社下ぶれ-1、調整額計算-11
合計	売上高	2,055	2,170	-115	
日前	営業利益	381	350	+31	

ESG

- ◆ 2018年9月
 Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index の構成銘柄に、初めて選定
- ◆ 2018年9月28日 初めて統合報告書「統合レポート2018」を発表 https://www.nissanchem.co.jp/ir_info/archive/ar/ar2018.pdf

セグメント別 設備投資・減価償却・研究開発費用

(億円)

		設備	青投資	(1)			減值	Б償却	J (2)		研究開発費用					
	2014	2015	2016	2017	2018E	2014	2015	2016	2017	2018E	2014	2015	2016	2017	2018E	売上高比率
化学	14	23	20	26	24	14	14	16	17	18	5	5	5	6	7	1.9%
機能性材料	52	54	84	72	41	36	52	48	59	62	67	74	79	81	83	13.0%
農業化学	18	13	24	26	33	18	14	13	14	17	35	39	38	43	45	7.2%
医薬	4	4	9	7	6	9	8	7	7	7	27	24	22	25	25	35.7%
卸売	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	-
その他	10	8	6	6	8	7	8	4	7	6	16	16	17	17	19	-
合計	98	102	143	137	114	85	97	89	105	111	150	158	161	172	179	
							も上高	研究開	発費	比率)	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	

(1) 設備投資額

実績 - 検収ベース

予想 - 稼動開始ベース

(2) 減価償却法

サンエバー・ARC® - 4年定率(初年度50%を償却)

その他製品

- 8年定率(初年度25%を償却)

研究所総合職人員(18/9) -①	430
総合職人員(18/9)-②	1,080
①/②	40%

※単体ベース(出向者除く)

※概数

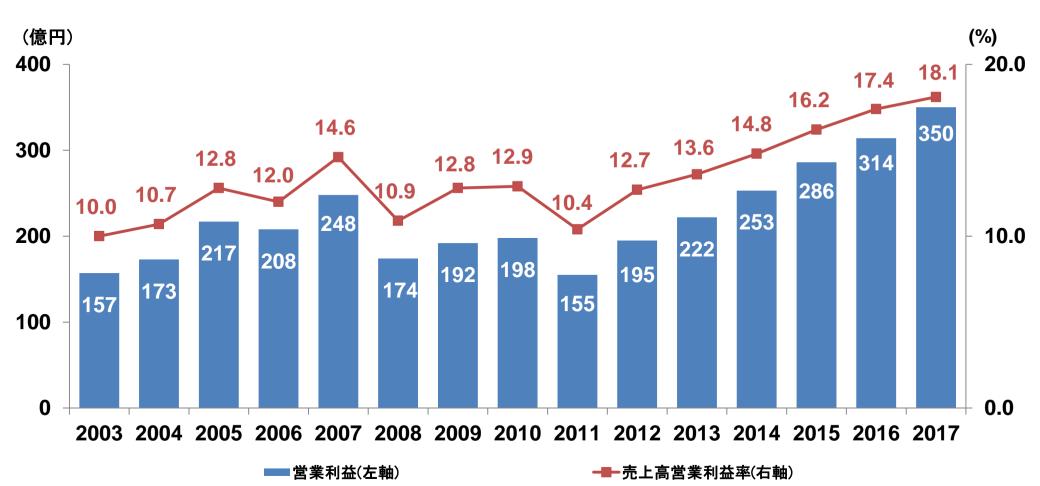
主要設備投資(承認ベース)

(億円)

2015実績		2016実績		2017実績		2018予想	
項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
半導体(開発設備新設)	28	NCK 半導体増強	26	農薬(設備新設)	14	半導体分析新棟	30
材料研(機器)	17	材料研(機器)	11	NSU R&Dセンター	10	材料研(機器)	8
農薬(製剤増強)	12	半導体(評価機器)	10	材料研(機器)	9	物質研(機器)	8
サンエバー原料増強	10	物質研(機器)	6	物質研(機器)	6	農薬(開発新棟)	6
半導体(評価機器)	8	スノーテックス増強	5	DP(試験製造)	3	テピック増強	5
半導体 増強	8	NCK サンエバー増強	3	生物科学研(機器)	3	NSU R&Dセンター	5
NCK 半導体	7	スノーテックス増強	3	DP(製造設備)	3	生物科学研(機器)	4
ファインテック増強	4	生物科学研(機器)	2			高純度硫酸増強	4
テピック増強	3	NCK R&Dセンター(機器)	2			半導体製造試験	2
生物科学研(機器)	2			•		スノーテックス増強	2
NCK R&Dセンター(機器)	2						

当社の特徴-(A)売上高営業利益率

◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持 (2003年度以降15年連続10%以上)



当社の特徴-(B) ROE

- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 2016年度以降は14%以上維持を目標とし、2016、2017年度は達成



当社の特徴-(C)株主還元(総還元性向)

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの 積極的な利益還元の結果、近年は60%-70%で推移
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、 2016、2017年度は達成



当社の特徴-(D)株主還元(配当性向)

- ◆ 近年は30%を目標として配当してきた
- ◆ 2015年度30%から段階的に引き上げ、2016年度実績33.1%、 2017年度実績37.7%、2018年度以降は40%を目標とする



当社の特徴-(E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始
- ◆ 2006-17年度取得総額635億円、3,706万株(取得開始前発行済株式の19.8%)
- ◆ 2006-17年度取得株はすべて消却済

2006-17年度 自己株式取得実績

(1) 単位未満株式買取を除く (2) 単位未満株式を含む

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	合計
自己株式取得総数 (千株)(1)	3,500	3,399	7,355	0	2,167	0	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	37,066
取得価額総額(億円)(1)	47	50	80	0	28	0	50	50	60	90	90	90	635
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	0	3,000	0	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	36,635
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	174	171	171	165	161	158	156	154	151	
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	1,709	885	886	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	32	53	37	67	59	64	71	70	71	

◆ 2018年度 取得 取得 取得株数:976千株 取得総額:50億円

取得期間:2018年5月14日~6月8日

消却時期:2018年8月31日 消却株数:1,000千株

◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

目標現預金残高水準

= 必要下限額 + 流動性リスク対応[1/3×(長期借入金年間返済予定額 + 短期借入残)] + 偶発リスク対応

当社の特徴-(F-1)研究開発

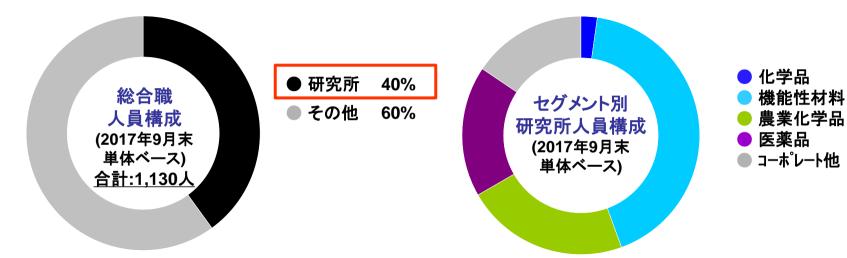
- ◆独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆総合職の約40%はR&D要員



当社の特徴- (F-2)研究開発

◆セグメント別研究開発費

			2017年度実紀	漬	
セグメント	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	349	34	9.7%	6	1.7%
機能性材料	588	142	24.1%	81	13.8%
農業化学品	581	164	28.2%	43	7.4%
医薬品	75	12	16.0%	25	33.3%
コーポレート他	-	-	-	17	-
その他共合計	1,934	350	18.1%	172	8.9%



新中期経営計画 Vista2021 Stage I (FY2016-2018) Stage II 以降に向けた取り組み (G)

情報通信

ライフサイエンス

環境エネルギー

開研発究

新製品の開発:

- 耐熱レンズ
- ・調光フィルム
- *光配線材料

次世代ディスプレイ材料の創出

次世代半導体材料の創出

新剤の開発:

- ・グレーシア(殺虫剤)
- ·新規殺菌剤(NC-241)
- ·新規除草剤(NC-653)

血小板増加薬NIP-022の開発

抗真菌薬の共同研究推進

細胞培養材料のグローバルスタンダード化

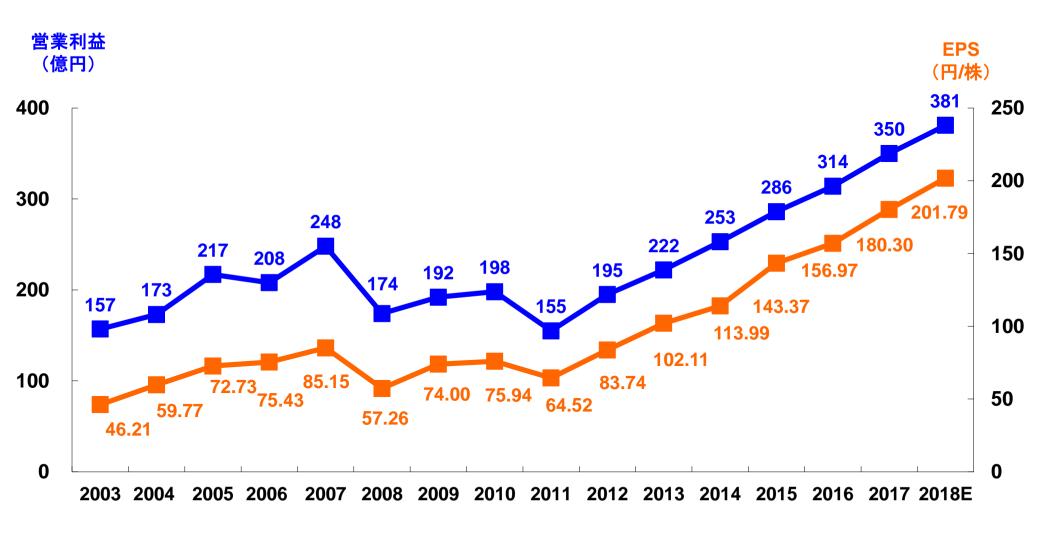
新製品の開発:

-2次電池および燃料電池材料

環境発電材料の創出

生体材料分野におけるシーズ獲得

長期業績推移



長期業績推移

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018E
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,055
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	381
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	401
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	300
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	403	455	492
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.5%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.5%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	201.79
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	40.6%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	50
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	143	137	114
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	111
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	179
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%

[※]税効果会計基準改正の影響等により、2017年度の総資産は組み替え済み

2013-18 2Q 四半期別セグメント別売上高(1)

(億円)

			2013実績 2014実績							20)15実	績			20	016実績	漬			20)17実約	責		2018	実績			
	ŀ	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
ſĿ	;学	93	86	88	88	355	85	82	91	85	343	87	80	90	86	343	85	80	91	92	348	88	79	92	90	349	87	83
	ファイン	27	26	23	23	99	27	26	28	25	106	30	25	25	26	106	28	25	27	27	107	28	25	28	25	106	27	24
	基礎	66	60	65	65	256	58	56	63	60	237	57	55	65	60	237	57	55	64	65	241	60	54	64	65	243	60	59
梯	能	103	103	111	111	428	118	124	130	122	494	130	130	136	122	518	126	129	138	135	528	141	150	151	146	588	156	164
農	化	99	61	55	176	391	123	62	57	215	457	136	75	50	214	475	145	95	42	238	520	146	115	64	256	581	164	123
逐	薬	31	33	30	22	116	25	25	21	17	88	21	16	35	15	87	22	15	24	19	80	21	14	23	17	75	18	19
鉬	売	127	118	128	134	507	141	132	141	130	544	147	128	149	132	556	144	132	137	139	552	146	145	159	145	595	178	156
伳	Į.	46	51	49	68	214	38	47	46	78	209	41	48	47	73	209	40	46	58	96	240	54	43	46	72	215	46	59
訓	整	-97	-90	-89	-98	-374	-105	-98	-107	-113	-423	-110	-92	-110	-107	-419	-111	-103	-114	-137	-465	-122	-110	-118	-119	-469	-140	-133
4	計	402	362	372	501	1,637	425	374	379	534	1,712	452	385	397	535	1,769	451	394	376	582	1,803	474	436	417	607	1,934	509	471

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

2013-18 2Q 四半期別セグメント別営業利益

(億円)

		20	13実	漬			20	2014実績				20	15実	漬			20	16実	績			20	17実	漬		2018実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	10	-2	6	5	19	10	-6	6	9	19	15	-1	12	13	39	15	-2	13	12	38	15	-2	12	9	34	16	-4
機能	21	23	23	21	88	33	34	32	21	120	34	29	36	21	120	30	32	38	25	125	36	41	40	25	142	39	42
農化	23	1	-8	46	62	40	0	-5	57	92	44	18	-13	59	108	45	24	-20	83	132	45	36	-6	89	164	51	47
医薬	14	17	14	4	49	8	8	4	3	23	4	2	16	-2	20	6	0	8	3	17	5	0	6	1	12	3	3
卸売	4	3	4	4	15	5	4	5	3	17	5	4	5	4	18	4	4	5	4	17	4	5	5	4	18	6	5
他	1	1	1	5	8	-1	0	1	6	6	0	0	0	5	5	0	0	2	8	10	1	1	1	3	6	1	1
調整	-6	-4	-5	-4	-19	-6	-4	-7	-7	-24	-8	-3	-7	-6	-24	-5	-6	-6	-8	-25	-6	-8	-7	-5	-26	-9	-7
合計	67	39	35	81	222	89	36	36	92	253	94	49	49	94	286	95	52	40	127	314	100	73	51	126	350	107	87

セグメント別売上高、営業利益推移 (1)(2)

<売上高 (A) >

(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018E
化学	381	369	345	355	343	343	348	349	378
機能	380	340	374	428	494	518	528	588	638
農化	344	338	354	391	457	475	520	581	626
医薬	96	100	127	116	88	87	80	75	70
卸売	441	448	466	507	544	556	552	595	663
他	270	200	212	214	209	209	240	215	225
調整	-370	-309	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-545
合計	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,055

<セグメント資産 (D)(3)>

<営業利益 (B)>

化学	24	16	19	19	19	39	38	34	39
機能	79	48	72	88	120	120	125	142	153
農化	48	44	50	62	92	108	132	164	184
医薬	44	46	52	49	23	20	17	12	12
卸売	14	13	14	15	17	18	17	18	21
他	10	3	7	8	6	5	10	6	6
調整	-21	-15	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-34
合計	198	155	195	222	253	286	314	350	381

2	017
	270
	529
	566
	91
	233
	96
	675
	2,460

<営業利益率 (C)=(B)/(A)>

化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	10.3%
機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	24.0%
農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.4%
医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	17.1%
卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	3.2%
他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	2.7%
合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.5%

<ROA (E)=(B)/(D)>

12.6%	6
26.8%	6
29.0%	6
13.2%	6
7.7%	6
6.3%	6
14.2%	ó
	_

- (1)2010-11:旧セグメント, 2012-:新セグメント
- (2)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む
- (3)税効果会計基準改正の影響等により、2017年度の総資産は組み替え済み

主要製品用途

化学品	◆ファインケミカル テピック	
	テヒ [°] ック	
		エポキシ樹脂: ソルダーレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤
1	メラミンシアヌレート	難燃剤
	ハイライト	塩素化イソシアヌール酸: プール、浄化槽用殺菌消毒剤
	◆基礎化学品	
	メラミン	合板用接着剤
	尿素、アドプルー	アト・フ・ルー(テ・ィーセ・ル車排ガス浄化用高品位尿素水)
	高純度硫酸	半導体用洗浄剤
	アンモニア、硫酸、硝酸	
機能性材料	◆電子材料 サンエハ・ー	 液晶配向材用ポリイミド
	ARC®(KrF、ArF)	次韻配回が用がり15で 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料(Si-HM、SOC)
	OptiStack®(多層材料)	十字体用及射的血ューバック 物、十字体用多層/ ロピス物 科 (Si-TiM)、300/ *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標
	NHC	Andwass Gopfistack@lastiewer Science, Inc. の豆螺筒標
	OPTIFOCUS	イメーシ・センサー用マイクロレンス・材料
	エルソース	有機EL用塗布型ホール注入材
	◆無機コロイド	
	スノーテックス	コロイダ・ルシリカ: 研磨材(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)、
	± 0 ± 2 × 2 × 2 × 2 × 0 × 0	脱硝触媒、特殊鋼板
	オルカ・ノソ・ル・モノマーソ・ル	有機溶媒・モノマー分散シリカソ・ル: フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤 自動車用触媒、電子機器
	アルミナソ・ル サンコロイト・	巨乳平内性味、电丁候番 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル
	ソンコロイト セルナックス	収続レンへ 冲向温が 辛 ノル フィルム用帯電防止
	オイル&カ・ス材料	シュールオイル・ガス採掘効率向上材
農業化学品	◆除草剤	7
	タルカ・	大豆、なたね、てんさい
	ハ゜ーミット	とうもろこし、さとうきび、米
	シリウス	米
	ラウント・アッフ [°]	非選択性茎葉処理除草剤: 非農耕地、果樹園
	アルテア	米
	◆殺虫剤	
	サンマイト、マイトコーネ、スターマイト	果樹、かんきつ、茶、野菜
	◆殺菌剤	XXX IVE - I XI ZI X
	ハ°ルサー、イカルカ*、ク*レータム	
	(チフルサ˙ミト˙)	芝、稲、ぱれいしょ
	ライメイ	野菜
	◆動物薬	
	フルララネル	へ°ット用外部寄生虫薬プラペクト、鶏用ワクモ駆除剤EXZOLT原薬
医薬	IJ ハ ˙ロ	高コレステロール血症治療薬
	ファインテック	医薬品研究開発参加型事業
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥	O 本行

免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、 資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断した ものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。 様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる 結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。 投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるよう お願いします。

